

令和5年度 東京都立小平高等学校

普通科・普通科外国語コース

推薦に基づく選抜

小論文

注 意

- 1 本文と問題が2ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は50分で、終わりは午後0時50分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 受検番号を解答用紙の決められた場所に記入しなさい。解答欄の中に、題名・中学校名・氏名など、答え以外のものを書いてはいけません。
- 7 解答用紙は横書きです。間違いのないように注意しなさい。
- 8 机の上には、受検票、問題用紙、解答用紙、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、時計（時計以外の機能のないもの）以外のものを置いてはいけません。
- 9 開始の合図があるまで用紙に手を触れてはいけません。開始の合図があったらすぐに、問題が印刷されていることを確認しなさい。印刷されていない箇所や、印刷が不鮮明な箇所があったら、手を挙げなさい。

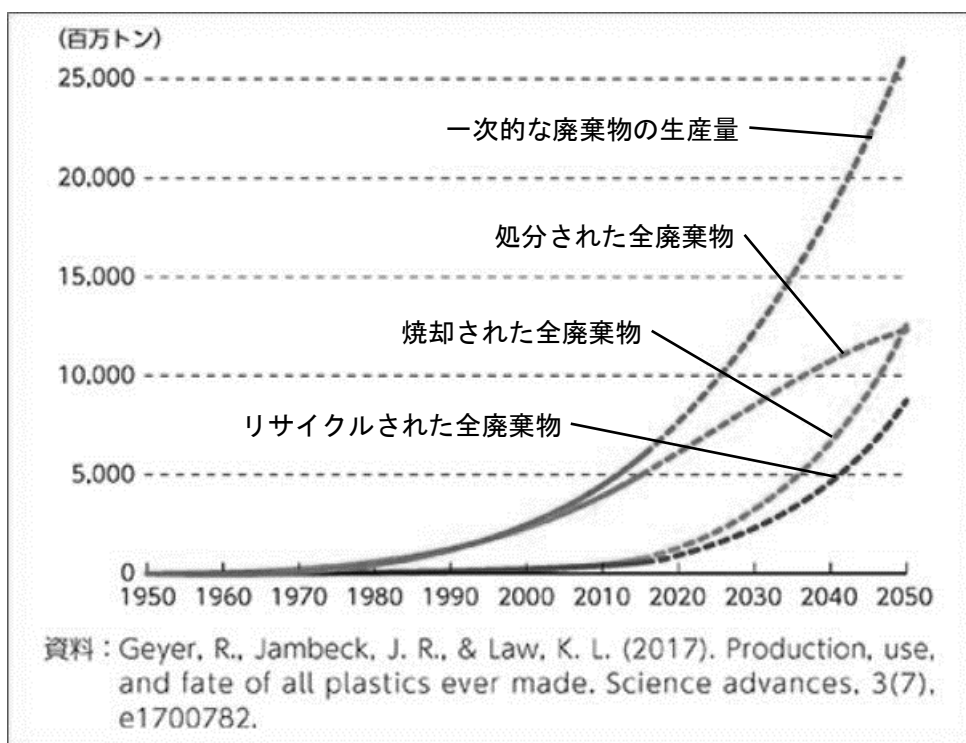
以下に示す文章と資料を読み、後の問題に答えなさい。

プラスチックの生産量は世界的に増大しており、1950年以降、生産されたプラスチックは83億トンを超えている。また、生産の増大に伴い廃棄量も増えており、63億トンがごみとして廃棄されたとされている。また、不適正な管理等により海洋に流出したプラスチックごみの量は極めて膨大で、世界全体では、毎年約800万トンのプラスチックごみが海洋に流出しているとの報告がある。このままでは、2050年には海洋中のプラスチックごみの重量が魚の重量を超えるとの試算もされており、世界的な課題となっている。

資料1は、2050年までのプラスチック廃棄物発生量の推計を表している。

資料2は、海面浮遊汚染物質（プラスチック類）の観測結果を表している。

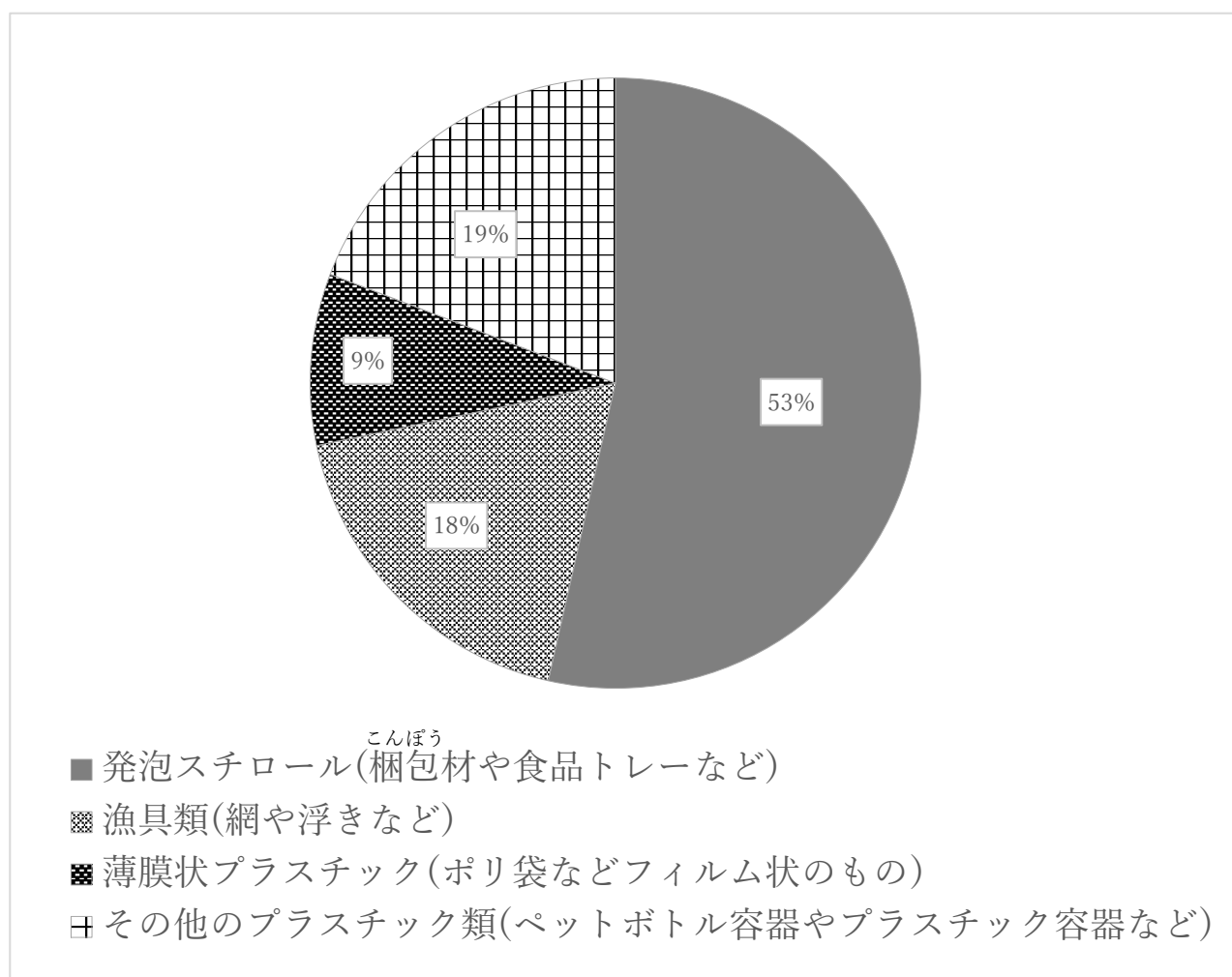
資料1 プラスチック廃棄物発生量の推計



(注)「処分された全廃棄物」とは、焼却もリサイクルもされずに、埋め立てられるか、環境中に投棄されたものを指す。

出典：環境省 環境・循環型社会・生物多様性白書

資料2 海面浮遊汚染物質（プラスチック類）の内訳（2011～2020年）



出典：気象庁

<問題>

資料1から2050年までに予測されること、資料2から読み取れることを記述しなさい。次に、それらを踏まえた上で、大量のプラスチックごみが海洋に流出することで起こりうる問題と、その問題を解決するためにあなた自身に取り組むべきことについて、具体例をあげて記述しなさい。解答は全てを含めて600字以内で記述しなさい。